

**食と栄養の
情報定期便**

No.034

桐生大学栄養学科・短期大・部生活科講義

冬になると食べる機会が増える「ねぎ」に、ねぎ、あさつき、わけについて紹介いたしました。さまざまな品種があり、煮物、鍋物、炒め物、焼き物などさまざまな品種があります。ねぎには白ねぎ（長ねぎ）、青ねぎ、九条ねぎ、青ねぎ、九条ねぎ、九条ねぎ）、青ねぎ、九条ねぎ、九条ねぎ）があり、料理に合ったものを使用することで、味わいが増します。冬の寒い時期にぴったりです。

冬になると食べる機会が増える「ねぎ」に、ねぎ、あさつき、わけについて紹介いたしました。さまざまな品種があり、煮物、鍋物、炒め物、焼き物など幅広い料理にくらい形をしていま

す。加熱することで甘味が出て、やわらかく、くつれて辛味が増します。どの品種にとどりとした食感となるのが特徴的です。ねぎは部位や切り方

によって味わいが変わ

ります。どの品種にとどりとした食感となるのが特徴的です。ね

ぎは部位や切り方によ

りて辛味が出てしまいま

す。このように使用す

る。

【材料】
(2人分)
長ねぎ2本、豚バラ肉180g、塩・こしよ

う少々、青ねぎ1束、白練りごま大さじ1、しょうゆ小さじ2、砂糖小さじ2、米酢小さじ2、ごま油小1

【作り方】

①長ねぎはよく洗い、白い部分を4等分に切り、縦に4等分に切る。
②長ねぎに豚バラ肉を巻き付け、全体に塩・こしょうを振

ます。
③耐熱皿に並べてラップをし、電子レンジ600Wで4分間加熱する。

④青ねぎは小口切りに

する。

⑤たれを作る。白練りごま、しょうゆ、砂糖、米酢、ごま油を

まぜ合わせる。

⑥③を皿に盛り付け、青ねぎを散らす。

ねぎの調理のこつ・レシピ

品種と一工夫で味わい変わる

担当・桐生大学医療保健学部栄養学科助教 須藤侑加子

冬になると食べる機会が増える「ねぎ」に、ねぎ、あさつき、わけについて紹介いたしました。さまざまな品種があり、煮物、鍋物、炒め物、焼き物など幅広い料理にくらい形をしていま

す。加熱することで甘味が出て、やわらかく、くつれて辛味が増します。どの品種にとどりとした食感となるのが特徴的です。ね

ぎは部位や切り方によ

りて辛味が出てしまいま

す。このように使用す

る。

と辛味が抑えられ、横に切ると辛味や香りが引き立ちます。切り方では、包丁を手前に引きながら切ることで甘味が出て、奥に押しながら切ると繊維が壊れ

て辛味が出てしまいま

す。このように使用す

る。



ぎの旬である11月から2月ごろの寒い時期はやわらかく、よりいつそう甘味が増します。鍋やすき焼き、焼きねぎなど、じっくり加熱すると余分な水分が抜けて凝縮され、ひと

【プロフィール】須藤侑加子さんは太田市出身。聖徳大学人間栄養学部卒業後、2014年に桐生大学に着任し、現在に至る。担当科目は調理学実習。管理栄養士。修士(栄養学)。趣味・半身浴、好きな食べ物・エビ、貝。

保健・福祉

せきエチケット、手洗い励行

仕事終わり近くに外に目をやると、暮れからなりながらも西の空に明るさが残っていました。つい先日まではすこり暗くなっていたのに、季節の進み具合は早いようです。県内全域と同じく、桐生地区でもインフルエンザの発生が

はやってる病気は?

患者報告が多く、インフルエンザ流行警報が出ていました。また、新型コロナウイルス感染症も定点医療機関当たり6・88人／週と多い状況が続いています。マスクによるせきエチケットや外出後の手洗いを励行してください。

(20日、桐生市医師会)

疾病名	3週前 報告数	2週前 報告数	1週前 報告数	今週の 報告数
インフルエンザ	2905	4441	1964	3121
新型コロナ感染症	633	822	378	794
RSウイルス感染症	20	12	5	5
咽頭結膜熱	24	14	7	21
A群溶連菌咽頭炎	73	58	16	51
感染性胃腸炎	325	391	47	269
水痘	20	21	11	22
手足口病	37	29	2	8
伝染性紅斑	21	19	8	36
突発性発疹	15	17	3	9
ヘルパンギーナ	1	2	0	0
流行性耳下腺炎	0	5	0	1
急性出血性結膜炎	1	0	0	0
流行性角膜炎	7	15	1	14
細菌性膿膜炎	0	0	0	0
無菌性膿膜炎	1	0	1	1
マイコプラズマ肺炎	12	11	5	9
クラミジア肺炎	0	0	0	0
感染性胃腸炎(コロナウイルス)	1	1	1	0
風疹	0	0	0	0
麻疹	0	0	0	0
百日咳	0	2	0	1

群馬県の感染症サーベイランス (1月6～12日)